

質問者	通告1番 5番 議員 牧野 一仁	通告時間 30分 答弁者 町長・教育長
質問事項	GIGA スクール構想への大井町の取り組みについて問う	
要 旨	<p>1 文部科学省では新型コロナウイルス感染症拡大により、長期にわたる臨時休校を余儀なくされたことで、このような事態にも対応可能な遠隔教育など、Society5.0の実現を加速するため、計画の前倒しを行い、今年度中に実現すると発表した。一人1台端末や、家庭でも繋がる通信環境の整備等、GIGA スクール構想におけるハード・ソフト・ICT 技術者の配置支援など指導体制を一体とした整備を加速させるため、20年度中の完了を目指すとしている。すでに国より神奈川県には前倒しで交付されており、申請のあった市町村には交付済みと聞いている。そこで、町の現状の整備状況と、このGIGA スクール構想への取り組みは。また、補助内容はどのようなものか伺う。</p> <p>2 GIGA スクール構想は教員の働き方改革にもなる校務のクラウド化を推奨している。クラウドサービスである総合型校務支援システムをはじめとしたICT 導入・運用を加速していく事で、例えば名簿や出欠管理、授業の準備や成績処理などの校務の負担を大幅に軽減でき、教員の働き方改革にも繋がると思うが、検討しているのか伺う。</p> <p>3 性急なICT化を進めれば、子供たちが共同の学びを進め、人間的なふれあいを通じて育む本来の教育を阻害する危険性があるとの声もある。情報処理学会や日本数学会などの8団体が急激なICT化に次のような意見を述べている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の使用が、児童・生徒が紙と筆記用具を使って考えながら作図や計算を進める活動の削減につながらない事。 ・デジタル教科書の使用が、児童・生徒が自らの手と頭を働かせて授業内容を記録し、整理する活動の縮減にならない事。 ・デジタル教科書の導入に際しては、当面の間は、現行の教科書を併用して評価や採択においては紙の教科書を基準にする事。そこで、町ではこのような懸念材料に対してどのように考えているか伺う。 	